

待望の新刊

『年金基金のためのプライベート・エクイティ』

本書の特徴

本書は、年金基金の視点からプライベート・エクイティ・ファンドについて論じた日本初の本格的な専門書。日本の年金基金の資産運用を取り巻く環境の変化に触れたうえで、プライベート・エクイティ・ファンドへの投資の意義、特徴、課題、実務、将来展望について詳述。また、既にプライベート・エクイティ・ファンドへの投資を行っている日本の年金基金へのインタビューも実施し、開始理由や取り組む際に求められる姿勢について解説。そして、巻末には、投資家の立場から知っておくべき専門用語を平易に解説した「プライベート・エクイティ用語集」を収録。

企業年金基金、厚生年金基金、公的年金基金、信託銀行、投資顧問会社などで年金資産運用に携わっている方々に必読の書。また、年金コンサルタントやゲートキーパーにも待望の実務書。さらに、プライベート・エクイティ・ファンドの運用会社や広く資産運用業界で活躍されている方々にとっても必携の書。



年金基金のための プライベート・エクイティ

日本バイアウト研究所／編

刊行日：2014年10月14日
仕様：A5判・352頁・上製
定価：3,300円＋税
発行所：きんざい

主な読者層

- ・企業年金基金、厚生年金基金
- ・公的年金基金
- ・投資顧問会社、信託銀行
- ・ゲートキーパー、年金コンサルタント
- ・金融機関（銀行、証券会社、保険会社）
- ・プライベート・エクイティ・ファーム（バイアウト、ベンチャー、グロース、メザニン、セカンダリー、その他）
- ・ファンド・オブ・ファンズ
- ・プレースメント・エージェント
- ・弁護士、会計士、税理士

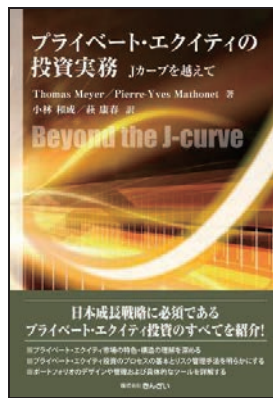
姉妹本のご紹介



機関投資家のための プライベート・エクイティ

編者：日本バイアウト研究所
刊行日：2013年2月14日
仕様：A5判・464頁・上製
定価：本体3,600円＋税
発行所：きんざい

本書は、機関投資家の視点からプライベート・エクイティ・ファンドについて論じた日本初の本格的な専門書。日本の有力機関投資家へのインタビューも実施し、プライベート・エクイティ・ファンドの魅力や投資の際の留意点について解説。前半では、機関投資家の視点から見たプライベート・エクイティ・ファンドの特徴と仕組み、投資戦略別（バイアウト、ベンチャー、グロース、メザニン、セカンダリー）の特徴と魅力について詳細に解説し、後半では、年金基金によるプライベート・エクイティ・ファンドへの投資アプローチと留意点や、機関投資家によるプライベート・エクイティ投資プログラムの確立と投資実務などについて詳述。



プライベート・エクイティの投資実務 ～Jカーブを超えて～

訳者：小林和成・萩康春
刊行日：2013年4月8日
仕様：A5判・500頁・上製
定価：本体4,400円＋税
発行所：きんざい

本書は、欧州投資基金（European Investment Fund）でプライベート・エクイティ投資の投資戦略、ポートフォリオ管理およびそのリスク・マネジメントに深くかかわったトーマス・メイヤー氏とピエール・イブ・マゾネット氏による共著、*Beyond the J Curve: Managing a Portfolio of Venture Capital and Private Equity Funds* の邦訳である。

本書では、プライベート・エクイティ市場の構造について概観した上で、投資家の立場でのプライベート・エクイティへの投資プロセスに関して基礎的な枠組みを明らかにしている。また、ポートフォリオをいかにデザインするかと、投資が進んだ段階でポートフォリオをいかに管理するかといった点に関しても、そのツールを詳細にまとめている。

『年金基金のためのプライベート・エクイティ』目次

第Ⅰ部 年金資産運用とプライベート・エクイティ

第1章 日本の年金基金の資産運用を取り巻く環境とプライベート・エクイティ ～求められる視点と新たな運用戦略～

(執筆者: アーク東短オルタナティブ株式会社 代表取締役社長 棚橋俊介)

(執筆者: アーク東短オルタナティブ株式会社 投資顧問部長 飯島信行)

《インタビュー》

日本の企業年金基金の資産運用のあり方とプライベート・エクイティへの期待

～年金制度と負債構造を考慮に入れた長期的な視点による資産配分～

(インタビュー先: セコム企業年金基金 常務理事 八木博一氏)

第2章 年金基金によるプライベート・エクイティ投資の意義 ～新たなアルファの獲得を目指して～

(執筆者: キャピタル・ダイナミクス株式会社 代表取締役社長 マネージング・ディレクター 小林和成)

《インタビュー》

プライベート・エクイティへの投資の意義 ～長期的な視点によるリターン向上と分散投資効果の追求～

(インタビュー先: 旭化成企業年金基金 インベストメント・オフィサー 松本啓氏)

第3章 年金基金によるプライベート・エクイティへの投資の課題 ～マネジャー選定、資金管理、パフォーマンス評価～

(執筆者: 株式会社大和ファンド・コンサルティング ファンド企画部 アナリスト 花塚麻由)

(執筆者: 株式会社大和ファンド・コンサルティング ファンド戦略部 シニアアナリスト 水谷有美)

《インタビュー》

長い時間をかけて花開くプライベート・エクイティ投資の妙味 ～他の資産とのコンビネーションが大切～

(インタビュー先: ソニー企業年金基金 運用執行理事 飯野厚子氏)

第4章 米国の企業年金基金によるプライベート・エクイティへの資産配分 ～トレンド分析と日米比較～

(執筆者: CLSA キャピタルパートナーズジャパン株式会社 バイス プレジデント 山口龍平)

(執筆者: CLSA キャピタルパートナーズジャパン株式会社 マーケティング アシスタント 丹羽純子)

《インタビュー》

プライベート・エクイティへの資産配分を増やす米国の企業年金基金 ～専門家を有効活用したポートフォリオの構築～

(インタビュー先: イートン・パートナーズLLC パートナー ピーター・マーテンソン氏)

(インタビュー先: イートン・パートナーズLLC マネージング・ディレクター クリス・ラーナー氏)

第Ⅱ部 プライベート・エクイティ・ファンドの特徴

第5章 プライベート・エクイティ・ファンドの基本構造 ～長期資金の運用にふさわしい器として～

(執筆者: 東京海上キャピタル株式会社 取締役 ジェネラル・パートナー 重村英輔)

(執筆者: 東京海上キャピタル株式会社 プリンシパル 鈴木洋子)

《インタビュー》

プライベート・エクイティ・ファンドの設計とレポーティング ～投資家とマネジャーとのパートナーシップ～

(インタビュー先: ネクスト・キャピタル・パートナーズ株式会社 代表取締役副社長 パートナー 本坊吉隆氏)

(インタビュー先: 株式会社グロービス・キャピタル・パートナーズ マネージング・パートナー 仮屋蘭聡一氏)

第6章 バイアウト・ファンドの投資プロセスと株式価値創造の三要素 ～リスクをコントロールしながら高リターンを創出するメカニズム～

(執筆者: アドバンテッジパートナーズLLP シニア パートナー 永露英郎)

(執筆者: アドバンテッジパートナーズLLP オペレーティング パートナー 馬場勝也)

《インタビュー》

バイアウト・ファンドの価値創造の源泉 ～キャッシュフローの改善によるリターン創出～

(インタビュー先: 多数国間投資保証機関 長官 本田桂子氏)

第7章 プライベート・エクイティ・ファンド投資開始のハードル ～二つのJカーブについての考え方の整理～

(執筆者: 東京海上アセットマネジメント株式会社 プライベートエクイティ運用部部長 久村俊幸)

《インタビュー》

プライベート・エクイティ・ファンドのJカーブに対する考え方 ～毎年継続してコンスタントに新規コミットを行うことが鍵～

(インタビュー先: 株式会社日本政策投資銀行 企業投資部 ファンド投資班 課長 白鹿博之氏)

(インタビュー先: DBJアセットマネジメント株式会社 投資運用部 部長 小森慶一氏)

第8章 プライベート・エクイティ・ファンドの流動性とセカンダリー取引 ～ファンド持分の流動化の意義と譲渡プロセス～

(執筆者: 三井住友信託銀行株式会社 投資金融部 投資金融開発部長 増田徹)

《インタビュー》

日本の年金基金がファンド持分を譲渡する理由 ～戦略的なポートフォリオの組み替えの可能性～

(インタビュー先: アント・キャピタル・パートナーズ株式会社 セカンダリー投資担当執行役員 マネージングパートナー 赤荻貴夫氏)

(インタビュー先: アント・キャピタル・パートナーズ株式会社 セカンダリー投資グループ マネージングパートナー 林俊佐氏)

第9章 プライベート・エクイティ・ファンドのパフォーマンス評価とベンチマーキング ～適切なパフォーマンス測定に向けて～

(執筆者: エー・アイ・キャピタル株式会社 ディレクター 廿日岩修二)

《インタビュー》

プライベート・エクイティ・ファンドのレポーティングにおけるパフォーマンス指標 ～組織内における公正な評価のために～

(インタビュー先: 大同生命保険株式会社 市場投資部 プライベート・エクイティ投資課 課長 西澤整氏)

第Ⅲ部 日本の年金基金によるプライベート・エクイティ・ファンドへの投資実務

第10章 年金基金がプライベート・エクイティ・ファンドへ投資する仕組み

～信託銀行が受託者責任をもつ投資と投資顧問会社が受託者責任をもつ投資～

(執筆: 西村あさひ法律事務所 パートナー 弁護士 五十嵐誠)

(執筆: 西村あさひ法律事務所 アソシエイト 弁護士 石田康平)

《インタビュー》

プライベート・エクイティ・ファンドの投資実務 ～年金基金の資産規模と成熟度を勘案したポートフォリオ構築～

(インタビュー先: 元 帝京大学経済学部 教授 茂木敬司氏)

第11章 個別のファンドへの投資とファンド・オブ・ファンズへの投資 ～ポートフォリオ構築手法の検討～

(執筆: キャピタル・ダイナミクス AG マネージング・ディレクター イヴァン・ヘルガー)

(執筆: キャピタル・ダイナミクス株式会社 アソシエイト 大平愛子)

《インタビュー》

ファンド・オブ・ファンズへの投資の優位性 ～分散投資効果、優秀なマネジャーへのコンタクト～

(インタビュー先: 富士通企業年金基金 DC 運営管理部長 兼 資産運用部長 濱中昇一郎氏)

第12章 日本のプライベート・エクイティ市場におけるプレースメント・エージェントの役割 ～投資家と運用会社の情報の非対称性の緩和～

(執筆: アーク東短オルタナティブ株式会社 取締役 古屋武人)

《インタビュー》

プライベート・エクイティ・ファンドの情報収集 ～多様な運用戦略の導入に向けて～

(インタビュー先: 西日本電設資材卸業厚生年金基金 常務理事 橋爪孝雄氏)

第13章 年金基金によるプライベート・エクイティ投資のモニタリング ～実務的なアプローチを中心として～

(執筆: 株式会社りそな銀行 アセットマネジメント部 オルタナティブ運用室 グループリーダー 田中章博)

《インタビュー》

大阪ガス企業年金のプライベート・エクイティ投資プログラム ～14年間のポートフォリオの総括～

(インタビュー先: 大阪ガス株式会社 財務部 ファイナンスチーム (企業年金資産運用担当) インベストメント・オフィサー 石田英和氏)

第14章 年金基金によるプライベート・エクイティ・ファンドのポートフォリオ戦略

～サブ・アセットクラスを活用したキャッシュフローおよびリスク・コントロール～

(執筆: みずほグローバルオルタナティブインベストメンツ株式会社 運用第三部 部長 佐村礼二郎)

(執筆: みずほグローバルオルタナティブインベストメンツ株式会社 運用第三部 シニアファンドマネジャー 齋藤大彰)

《インタビュー》

日本の年金基金の注目を集めるメザニン・ファンド ～安定的なインカムゲインを獲得するアセットクラス～

(インタビュー先: 株式会社メザニン 代表取締役 笹山幸嗣氏)

(インタビュー先: みずほキャピタルパートナーズ株式会社 マネージング・ディレクター 宮崎直氏)

第Ⅳ部 日本のプライベート・エクイティ・ファンドの発展性と将来展望

第15章 日本のプライベート・エクイティ市場の変遷と将来展望 ～年金基金による投資の可能性について～

(執筆: エー・アイ・キャピタル株式会社 シニア・バイスプレジデント 野津慎次)

《インタビュー》

バイアウト・ファンドとメザニン・ファンドの共存共栄 ～リスク・プロファイルの異なるアセットクラスとして～

(インタビュー先: インテグラル株式会社 取締役パートナー 水谷謙作氏)

(インタビュー先: 三井住友トラスト・キャピタル株式会社 常務取締役 石井誠氏)

第16章 日本のバイアウト・ファンドの発展性と将来展望 ～ファンド・マネジャーに求められる要素～

(執筆: ポラリス・キャピタル・グループ株式会社 代表取締役社長 木村雄治)

(執筆: ポラリス・キャピタル・グループ株式会社 パートナー 密田英夫)

(執筆: ポラリス・キャピタル・グループ株式会社 チーフ IR オフィサー 漆谷淳)

《インタビュー》

認知度の向上が期待される日本のバイアウト・ファンド ～企業の潜在的な価値の実現によるリターン獲得～

(インタビュー先: YKK 企業年金基金 常務理事 藤森正文氏)

第17章 プライベート・エクイティ・ファンドをめぐる内部統制の重要性 ～年金基金と運用会社双方における適切な内部統制の構築に向けて～

(執筆: 有限責任監査法人トーマツ 金融インダストリーグループ パートナー 浅野昌夫)

(執筆: 有限責任監査法人トーマツ 金融インダストリーグループ シニアマネジャー 福田紘子)

《インタビュー》

プライベート・エクイティ・ファンドのリスク管理とモニタリング ～年金資産運用の健全な発展を目指して～

(インタビュー先: キューピー企業年金基金 運用執行理事 沖森公輔氏)

第18章 日本のプライベート・エクイティ・ファンドの進化と発展性 ～新たな投資家層の流入に向けて～

(執筆: 株式会社日本バイアウト研究所 代表取締役 杉浦慶一)

《インタビュー》

日本のプライベート・エクイティ・ファンドの将来展望 ～投資家の利益とのアラインメントを重視したファンド運用に期待～

(インタビュー先: 一般社団法人日本投資顧問業協会 会長 岩間陽一郎氏)

巻末には、J カーブ、キャピタル・コール、ディストリビューション (分配)、管理報酬 (マネジメント・フィー)、ビンテージ・イヤー、内部収益率 (IRR)、セカンダリー取引など、投資家の立場から知っておくべき専門用語を平易に解説した「プライベート・エクイティ用語集」を収録。